【お知らせ】

Burkholderia cepacia（バークホルデリア・セパシア）菌の院内検出増加について

当院におきまして、2024年以降、入院患者さまからの *Burkholderia cepacia*（以下、セパシア菌）の検出件数が増加していることが確認されました。

2023年以前は年間1～2件程度の検出にとどまっておりましたが、2024年度は計19件の検出があり、特に成人ICU病棟を中心に増加傾向が見られました。

この事象について、所轄の南部保健所へ速やかに報告のうえ、2024年5月15日から23日にかけて、南部保健所および国立感染症研究所 応用疫学研究センターによる実地疫学調査を実施いたしました。

【調査結果の概要】

- 検出された19件のうち、2件は感染症を発症しました。
 - 残る17件は体内に菌を保有しているのみであり（定着または汚染）、感染には至っておりません。
 - 19件のうち4件が死亡症例でしたが、いずれもセパシア菌との明確な因果関係は認められておりません。
-

【感染源調査と今後の対応】

セパシア菌は一般に、医療機関内の給排水設備や湿潤環境から検出されることが知られており、当院でもICU病棟を中心に環境調査を実施しましたが、本菌は現時点で検出されておられません。

当院では、今後も引き続き保健所および関係機関からのご指導のもと、感染対策の強化と原因の解明に努め、安全・安心な医療の提供に万全を期してまいります。

患者さまやご家族の皆さまには、多大なるご心配とご不便をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

本件に関する続報や調査の進展があり次第、速やかにご案内いたします。

2025年5月30日

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
院長 重盛 康司

【お問い合わせ先】

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 総務課
TEL：098-888-0123
Email：xx036072@pref.okinawa.lg.jp